

- ・売上高につきましては、昨年の注文住宅の受注低迷を受けて、前年同期を下回る588億円（前年同期比△4億円・△0.8%）となりました。事業別では、資産活用事業が医療介護施設を中心とした棟数増で前年同期比+13億円、リフォーム事業は、営業効率の向上により同+4億円となりました。
利益面につきましては、注文住宅の売上高減少に伴う影響が大きかったものの、広告宣伝費を中心に販管費の見直しを行い、営業利益は△75億円と赤字幅が縮小し、良化（前年同期比+5億円）しました。
尚、主力の戸建住宅事業は、3月、9月に完工が集中する傾向があるため、第1四半期、第3四半期の売上高・利益は例年、低水準となります。
- ・受注高につきましては、戸建住宅事業が好調だったものの、資産活用事業で昨年あった大型案件の反動を受け、全体では893億円（前年同期比△5億円・△0.6%）となりました。
受注残高につきましては、戸建住宅事業を中心に増加し、2,122億円（前年同期末比+42億円・+2.1%）となりました。
引き続き、住宅ローン減税をはじめとする住宅取得支援策の訴求や、リフォーム事業への人的資源投入等により、受注拡大を図ります。
- ・通期業績予想につきましては、現時点で変更はございません。

【連結損益計算書】

(億円)

	H29.3		H28.3		増減		増減率	
	第1四半期	構成比/利益率	第1四半期	構成比/利益率				
売上高	588	100.0%	592	100.0%	△	4	△	0.8%
売上総利益	112	19.1%	120	20.3%	△	8	△	6.7%
販売費及び一般管理費	187	31.9%	200	33.8%	△	13	△	6.5%
販売費	33		37		△	3		
人件費	109		110		△	0		
その他	44		52		△	8		
営業利益	△ 75	△ 12.8%	△ 80	△ 13.5%		5		- %
営業外損益	0		0		△	0	△	45.7%
経常利益	△ 74	△ 12.7%	△ 79	△ 13.4%		4		- %
特別損益	△ 1		0		△	1		
税前純利益	△ 76	△ 12.9%	△ 79	△ 13.4%		3		- %
税金費用	△ 2		△ 4			1		
法人税等	0		0			0		
法人税等調整額	△ 3		△ 4			1		
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 1		△ 1		△	0		
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 71	△ 12.1%	△ 73	△ 12.4%		2		- %

【事業別売上高】

(億円)

	H29.3		H28.3		増減		増減率	
	第1四半期	構成比	第1四半期	構成比				
戸建住宅事業	257	43.7%	281	47.4%	△	24	△	8.6%
リフォーム事業	123	21.1%	119	20.2%		4		3.6%
資産活用事業	125	21.4%	112	19.0%		13		11.9%
不動産事業	55	9.4%	57	9.6%	△	2	△	3.5%
その他事業	26	4.4%	22	3.8%		3		17.7%
合計	588	100.0%	592	100.0%	△	4	△	0.8%

戸建住宅事業：注文住宅、分譲住宅(土地売上除く)
 リフォーム事業：戸建住宅リフォーム、建築物のリノベーション 他
 資産活用事業：賃貸住宅、特建、マンション、賃貸管理 他

不動産事業：土地売上、既存住宅仲介、買取再生販売 他
 その他事業：建材販売、物流 他

【受注の状況】

(億円)

	受注高				受注残高			
	H29.3	H28.3	増減		H28.6.30現在	H27.6.30現在	増減	
	第1四半期	第1四半期	増減	増減率			増減	増減率
戸建住宅事業	496	475	21	4.4%	1,355	1,283	72	5.6%
リフォーム事業	141	133	8	6.0%	129	126	3	2.7%
資産活用事業	154	182	△ 28	△ 15.4%	549	584	△ 35	△ 6.0%
不動産事業	73	85	△ 12	△ 14.1%	81	80	0	0.2%
その他事業	27	21	6	27.9%	6	4	2	53.1%
合計	893	898	△ 5	△ 0.6%	2,122	2,079	42	2.1%

以上